

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	韓国語	
科目基礎情報							
科目番号	0052			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生産デザイン工学科（物質化学コース）			対象学年	3		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	「改訂版・韓国語の世界へ 入門編」 李 潤玉, 酒勾 康裕, 須賀井 義教, 睦 宗均, 山田 恭子(朝日出版社)						
担当教員	朴 環奈						
到達目標							
1.英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができる。 2.ハングル(文字)を読むことができる。 3.日常生活に必要な簡単な会話ができる。 4.言葉の背景にある文化に触れることによって、隣国に対する関心と理解を高めることができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができる。			英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考が概ねできる。		英語以外の外国語を学び、言語構造の違いを理解するための論理的思考ができない。	
評価項目2	ハングル(文字)を正確に読むことができる。			ハングル(文字)を概ね読むことができる。		ハングル(文字)を読むことができない。	
評価項目3	日常生活に必要な簡単な会話ができる。			日常生活に必要な簡単な会話が概ねできる。		日常生活に必要な簡単な会話ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	本講義は韓国語の文字と発音をマスターし、日常生活に必要な簡単な会話文を身につけることを目的とする。						
授業の進め方・方法	文字をマスターするために書きと発音の練習に力を入れる。 発音の練習には視聴覚資料を活用することが多い。 会話文に慣れるために文型練習を並行する。						
注意点							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		予習復習の仕方、授業の進め方、テスト、参考書、シラバスの説明などを理解する。		
		2週	第 1 課 文字と発音1		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		3週	第 1 課 文字と発音1		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		4週	第 2 課 文字と発音2		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		5週	第 2 課 文字と発音2		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		6週	第 3 課 文字と発音3		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		7週	第 3 課 文字と発音3		文字と発音の基本的な関わりについて理解する。		
		8週	中間試験		1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。		
	2ndQ	9週	第 4 課 「韓国人です」		鼻音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		10週	第 4 課 「韓国人です」		鼻音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		11週	第 5 課 「韓国語は専攻ではありません」		激音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		12週	第 5 課 「韓国語は専攻ではありません」		激音化を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		13週	第 6 課 「教室は階段の横にあります」		二つの字母からなるパッチムの発音を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		14週	第 6 課 「教室は階段の横にあります」		二つの字母からなるパッチムの発音を理解し、聞き取ったり発音したりできるようになる。		
		15週	定期試験		9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。		
		16週	定期試験内容についての解説		定期試験の内容を理解する。		
後期	3rdQ	1週	第 7 課 「午後、時間大丈夫ですか」		当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		2週	第 7 課 「午後、時間大丈夫ですか」		当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		3週	第 8 課 「小学生にテコンドーを教えてください」		当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		4週	第 8 課 「小学生にテコンドーを教えてください」		当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		5週	第 9 課 「ふつう、6時に起きます」		固有数詞の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		6週	第 9 課 「ふつう、6時に起きます」		固有数詞の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。		
		7週	第 7 課～第 9 課のまとめと補足		第 7 課～第 9 課の振り返りを行い、試験前に分からなかった箇所を再確認する。		

		8週	中間試験	1～7週までの内容を網羅した試験により、授業内容の理解の定着を図る。
	4thQ	9週	第 1 0 課 「野球がとても好きです」	当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		10週	第 1 0 課 「野球がとても好きです」	当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		11週	第 1 1 課 「昼ごはん、食べなかったんですか」	過去形の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		12週	第 1 1 課 「昼ごはん、食べなかったんですか」	過去形の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		13週	第 1 2 課 「春休みには何をするつもりですか」	当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		14週	第 1 2 課 「春休みには何をするつもりですか」	当該の文法事項の理解、新出単語の習得。本文を発音できる。各種練習問題をスムーズに解ける。
		15週	定期試験	9～14週までの内容を網羅した試験により、理解の定着を図る。
		16週	定期試験内容についての解説	定期試験の内容を理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	3	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	3	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	3	

評価割合

	試験	小テスト・課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0